

ひとまち 自然がきらめく 共生の郷 佐用

議会だより

第29号

平成25年5月5日発行

佐用

発行／佐用町議会

編集／議会広報特別委員会

〒679-5380

兵庫県佐用郡佐用町佐用2611-1

TEL. 0790-82-0668

FAX. 0790-82-0685



久崎小学校前交差点 登校風景

も く じ	25年度予算可決	2p～5p
	3月定例議会報告・まちづくり基本条例を制定	6p～8p
	一般質問・町政を問う 13人が登壇	9p～15p
	委員会・組合議会報告	16p～18p
	「議会に関するアンケート」	19p
	議会の動き・インタビュー・編集後記	20p

予算決定

億5,303万円
億1,364万円

第54回定例議会は、3月4日から25日までの22日間の会期で開かれました。案件は、条例制定4件、条例改正6件、条例廃止1件、平成24年度補正予算案、平成25年度予算案など53議案が提案され、全議案可決しました。
また、一般質問には13人が登壇しました。

3月5日・6日、予算特別委員会に付託された平成25年度一般会計予算案および、特別会計予算案と水道事業会計予算案の審議を行い、全会計予算案を可決しました。

予算審議の主な質疑と本会議での討論の内容を報告します。

委員長 大下吉三郎
副委員長 敏森 正勝

一般会計歳入

町税

問 空き家があるが住民税の均等割が課税になるのか。

答 現住地で町県民税の均等割が掛かっている場合は課税になる。

問 法人の増減は。

答 10社廃止になって11社増えている。

地方交付税

問 ラスパイレス指数が一〇〇を超えている自治体は、給与の削減等の指示があるが、どのように考えているのか。

答 県町村会の中で協議

し対応していく。

分担金及び負担金、使用料及び手数料

問 成年後見制度の取り組みは。

答 役場関係、裁判所、福祉施設などが中心になって周知をしている。

問 夏場の残飯のゴミ収集回数を増やせないか。

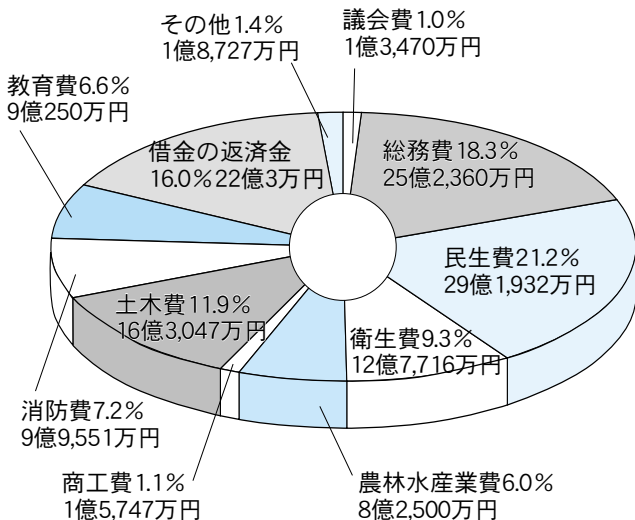
答 回数を増やすことは現在の職員体制の中では困難。

県支出金

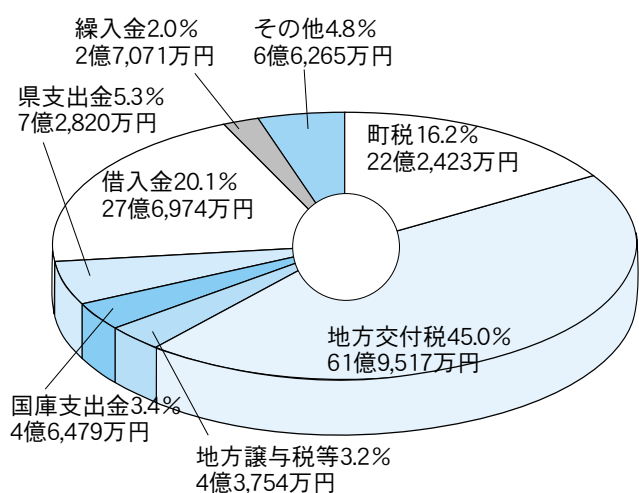
問 ファミリーサポート事業の内容は。

答 ファミリーサポート

一般会計 歳出 137億5,303万円



一般会計 歳入 137億5,303万円



平成25年度

佐用町

一般会計 特別会計

137 79

○主なもの

- 防災行政無線デジタル化事業 4億4,072万円
- 林業用路網の整備による林業事業 2,300万円
- 荒廃溪流の整備による治山事業 6,300万円
- 役場庁舎の増築費 11億9,370万円
- 環境学習のための太陽光発電施設整備 9,026万円
- 西はりま消防組合経費負担金 3億9,212万円
- 公債費（元金・利息・諸費） 22億3万円

問 南光ひまわり館の基金条例を廃止したが、

緑入金



▲智頭急行

問 智頭急行の配当金が無配当だが、
答 利益が減っており、経営が改善されるまで配当を見合わせる。

財産収入

問 地域の夢推進費補助金はその地域を対象にしているのか。
答 平福地区の案内看板等。

答 毎所要望を行なう

問 望は、

答 毎年要望を行なう

問 望は、

答 毎年要望を行なう

問 望は、

答 毎年要望を行なう

問 望は、

答 毎年要望を行なう

問 望は、

答 毎年要望を行なう

問 望は、

答 毎年要望を行なう

問 望は、

答 毎年要望を行なう

問 望は、

答 毎年要望を行なう

問 望は、

答 毎年要望を行なう

問 望は、

答 毎年要望を行なう

問 望は、

答 毎年要望を行なう

問 望は、

答 毎年要望を行なう

問 望は、

答 毎年要望を行なう

問 望は、

答 毎年要望を行なう

問 望は、

答 毎年要望を行なう

一般会計歳出

総務費

問 庁舎建設には県産材の使用を。
答 内装材には取り入れていく。

問 ハイキングマップ作成事業は。

答 ハイキングルートのマップや本を作る。

問 障害者雇用2・3%はクリアされているのか。

答 クリアしている。

問 台風9号災害記録誌作成は。

答 写真や統計を入れ、後世へ風化しないよう伝える冊子にしたい。

問 姫新線利用の改善要望は。

答 毎年要望を行なう

問 太陽光発電収入は、上月小学校裏に設置の分。

諸収入

いる。

民生費

問 地域介護拠点整備補助金は。

答 旧上月地域に一施設。保険計画で挙がっている小規模多機能型居宅介護施設の整備補助金。



▲小規模多機能型居宅介護施設

問 高齢者等住宅改造費助成金の増額は。

答 高齢者を対象にした人生80年いきいき住宅助成事業の拡充制度。

商工費

問 利神城跡石垣整備委託料は。

答 新たに石垣の樹木の伐採を行う。

問 観光看板製作業務委託料は。

答 歴史施設に関わるもので、利神城と平福陣屋門。

農林水産業費

問 鳥獣被害対策実施隊のメンバーは決定したのか。



▲利神城

答 旧町域の猟友会、伐採を専門にされている方、町職員の10名で構成している。

問 農地・水・環境保全身向上活動支援事業の減額は。

答 取り組み集落の減。土づくりセンターの牛糞処理は、畜産農家が負担するべきでは。

問 持ち込み料について交渉をしている。

答 道路維持費の増額は。地元からの要望に応え28地区で計画している。

問 住宅管理費の測量調査設計委託料は。

答 町内全ての町営住宅が該当で、長寿命化計画を策定しなければ今後修繕、建替えが国庫補助の対象にならない。

消防費

問 播磨科学公園都市消防業務委託について、西はりま消防組合で管轄で

きないのか。

答 赤穂市に消防業務を委託している上郡町が動いてもらわないとどうすることもできない。



▲西はりま消防組合開庁式 (除幕式)

教育費

問 事務局費の臨時職員賃金の減額は。

答 適応指導教室4名分の賃金が青少年育成センターへ移行した。

問 スクールバスの入札方式は。

答 主な相手2社と随意契約をしている。

問 図書の出出密度、蔵書の回転率が他の図書館と比べて悪いが。

答 図書館司書が小学校、福祉施設に出向いて貸出をしている。今後各支所でも本が返せるように協議をしている。

公債費

問 公債費22億円のうち今年度繰り上げ償還額は。

答 4億6000万円を予定している。

反対討論

金谷 英志 議員

「さよさよサービス」は、毎日運行と共に利用者負担金の軽減が求められている。子育て支援では、保育料の軽減や学校給食の無料化、また、子供の医療費無料化の年齢引き上げや、教材費など学費への助成も必要である。実効性のある農業振興への取り組みもされていない。

町民の負担軽減、暮らし応援、子育て支援、農林商工業の振興に不十分な予算である。

賛成討論

井上 洋文 議員

本予算の主なもの、庁舎増築により分散している部署の統合で住民サービスの向上、メガソーラー設置による再生可能エネルギー推進と共に自主財源の確保、地域の特性を

特別会計

国民健康保険

問 特定健診1期分受診率未達成についての国のペナルティーは。

答 発生しなかった。

反対討論

笹田 鈴香 議員

昨年度国保税を世帯あたり10・3%引き上げた。国の社会保障制度であり、一般会計から繰入れ、引上げを抑えるべきだった。滞納者の保険証取上げは命にかかわる問題。きっぱりやめるべきだ。

生かしたまちづくりのため地域包括交付金の創設、老朽化の進む社会資本に対する取り組みなど、厳しい財政状況下においてながら将来に向けて希望を与える予算になっている。

後期高齢者医療

問 後期高齢者医療保険に加入されている人数は。

答 3906人。

問 減免制度があるが割合は。

答 9割軽減、655人、7割軽減、791人、5割軽減、185人、2割軽減311人。

賛成討論

敏森 正勝 議員

近年の社会情勢の中で、高齢化率も高く後期高齢者との区分けがあり、国保の被保険者数が年々減少し、新たな被保険者増は現在のところ見込めない。一般会計からの繰入金によって賄われてお

反対討論

平岡きぬる 議員

昨年被保険者の保険料を平均年間7万0717円から7万5027円に4310円、6・1%も引き上げた。後期高齢者医療制度は、75才以上の高齢者だけを

対象にしたもので、保険料は2年ごとに見直され、医療費の増大で保険料に跳ね返えることや、後期高齢者の増大で保険料の負担比率が高くなる仕組みだ。負担の軽減が求められる。

賛成討論

山本 幹雄 議員

今年度予算は2億9954万9千円で、この金額は75才以上の方の医療を守るため、必要な予算である。健康診査費158万1千円、広域連合納付金2億7441万5千円等はこの会計を安定的に維持継続するためになくてはならない支出だ。また、保険料1億8580万4千円、県広域連合支出金134万円においても適切妥当な計上がなされている。

介護保険

問 24時間、地域巡回サービスの取り組みは。

答 県から施設等に情報が流れたばかりで未定。

反対討論

鍋島 裕文 議員

本予算案の最大の問題は、昨年度に保険料が4割も引き上げられたため月額基準が5100円となり、兵庫県平均を超えてしまったことである。年金が減額される中、高齢者の負担は深刻であり、引き下げをすべきだ。昨年の引き上げは、3年間で返済すればよい借金を昨年度一年間で返済するなど、不合理な予算編成に問題があったことは、その後の補正予算で証明された。

賛成討論

岡本 義次 議員

少子高齢化で年に国で1兆円、佐用も1億円の福祉の金が増えている。今は騎馬戦のように3人が1人を支え、将来は肩車で一人が一人を支える。介護保険も高齢者が増

え、病院に通院する人も増えている。病院にかかっていない人も、国県、町の一般会計からも負担して支援をしている。病院にかかられる方も健康体操等で健康管理に努められ、皆で保険制度を維持しなければならない。

水道事業

問 大酒水源地の移設は。今後検討委員会の中での位置に水源を移設するか決まってくる。



▲大酒水源地

特定環境保全 公共下水道事業

問 管移設工事の中で地権者の了解を取らずに構築物を立てたが。

答 今後十分打ち合わせをしながら進めていく。

歯科保健

問 将来に向けてセンターが存続できるかどうか考

える時では。
答 今後検討していきたい。

宅地造成事業

問 宅地売払代金、2945万2000円は。

答 さよひめ団地1区画、広山団地2区画、長尾団地2区画が残っている。

農業共済事業

問 水稲共済の未加入は。細目書等で把握できる範囲内のチェックで、最終確認はしていない。

石井財産区

問 財産区の管理方法、処分方法を検討する時期では。

答 今後研究をする。

平成25年度予算額

(単位：千円)

会 計	予 算 額	可決結果	
一般会計	137億5,302万6	賛成多数	
特別会計	国民健康保険	22億5,889万5	賛成多数
	後期高齢者医療	2億9,954万9	賛成多数
	介護保険 事業勘定	21億1,477万4	賛成多数
	サービス事業勘定	930万3	
	朝霧園	1億2,670万9	全員賛成
	簡易水道事業	7億5,298万0	全員賛成
	特定環境保全公共下水道事業	10億2,761万5	全員賛成
	生活排水処理事業	4億3,388万2	全員賛成
	西はりま天文台公園	1億0,621万1	全員賛成
	笹ヶ丘荘	1億2,357万3	全員賛成
	歯科保健	2,746万1	全員賛成
	宅地造成事業	3,045万2	全員賛成
	農業共済事業	1億0,295万0	全員賛成
	石井財産区	364万3	全員賛成
水道事業(支出)	4億9,563万6	全員賛成	

まちづくり基本条例制定

佐用町まちづくり基本条例(抜粋)

第1章 総則

(目的)

第1条 この条例は、佐用町におけるまちづくりの基本的な事項を定め、町民等の権利と役割並びに町議会及び町長等の権限と責任を明確にすることにより、町民自治による参画と協働のまちづくりを推進し、町民等が幸せを感じることができるまちを目指すことを目的とする。

第1節 町民等

(町民等の権利及び役割)

第4条 町民等は、まちづくりのための主体的な活動を自由に行う権利を有する。

2 町民等は、町民等同士や町と協働したまちづくりのため、まちづくりに関する情報を知る権利を有する。

3 町民等は、まちづくりに関心を持ち、積極的に参画、協働するよう努めるものとする。

第2節 町議会

(町議会の権限)

第6条 町議会は、町民の信託を受けた意思決定機関として、町政の重要事項について議決する権限及び町政運営を監視し、けん制する役割を有する。

(町議会の責務)

第7条 町議会は、町民の信託を受けた意思決定機関として、町政の重要事項を決定するとともに、町政に対する監視及び調査を的確に行い、適正な執行を確保しなければならない。

2 町議会は、町民の意思や地域の実情を的確に把握し、政策の立案又は提言に努めるものとする。

3 町議会は、議会活動に関する情報を町民等に提供し、町民等にかかれた議会運営に努めなければならない。

(町議会議員の責務)

第8条 町議会議員は、町民の代表者として、町民全体の利益を優先して行動し、町民福祉の増進に寄与するとともに、自己の研鑽に努め、誠実に職務を遂行しなければならない。

2 町議会及び町議会議員は、町民等への情報提供に務めるとともに、町民等の意見及び地域の課題を把握する等、情報収集に努めるものとする。



まちづくり基本条例を制定

まちづくり基本条例を制定しました。

この条例は、町民の権利と役割、町議会、町長の権限と責任を明確にして、町民自治による参画と協働のまちづくりを推進するとしています。

兵庫県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増減及び規約の変更

兵庫県市町村職員退職手当組合規約の「宍粟環 境事務組合」を削り「西はりま消防組合」を加える。

西播磨地域消防広域化協議会の廃止

西はりま消防組合設立により、平成25年3月31日をもって西播磨地域消防広域化協議会を廃止する。

佐用町過疎地域自立促進

計画の変更

過疎地域自立促進計画に、町道や公共施設の維持修繕事業と再生可能エネルギー推進・普及事業を加える。

南光福祉センターの指定管理者を指定

南光福祉センターの指定管理者に佐用町社会福祉協議会（会長・濱田義弘氏）を指定する。

指定期間は平成25年4月1日から平成28年3月31日まで。

反対討論

平岡きぬゑ 議員

昨年、年間のべ4千人を超える住民の一般入浴を一方的に廃止し、介護施設として特化するとして施設整備が進められてきた。同施設は、町の大きな観光イベントひまわり祭り会場としての受け入れ施設である。また、

スポーツ公園施設の中の

一施設だ。町が管理し、従来通り社協に施設を利用してもらうことのほうが町全体の運営から良いと考える。

農業共済事業事務費の賦課総額及び賦課単価の決定

水稲共済割の賦課総額を127万8056円、

賦課単価を10000分の

2・7とし、家畜共済割肉用牛等の賦課総額を286万9280円、賦課単価10000分の5・0などに決定する。

畑作物共済の危険段階基準共済掛金率の改定

畑作物共済（大豆）の引き受け方式、危険段階指数の設定方法、共済掛金率を改定し、知事に許可申請する。

佐用町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の改正

小中学校嘱託医の年額報酬を21万8千円から21万7千円に、保育園嘱託医年額報酬を10万9千円から10万8500円に改める。

佐用町職員の特殊勤務手当に関する条例の改正

西はりま消防組合の設立に伴い、現行の出動手

当、当務手当を削除する。

佐用町まちづくり推進会議条例の改正

集落単位に置いていたまちづくり活動推進員を廃止する。

佐用町市町村運営有償運送事業費用徴収条例の改正

市町村運営有償運送事業の一部（さよさよサービス）を廃止し、路線・時刻を定める乗合運行の費用徴収額を改定する。

反対討論

金谷 英志 議員

この改定案は、さよさよサービスの運営を町社会福祉協議会に移譲することによるものだが、社協への移譲は毎日運行や利用料の負担軽減という町民の要求に背を向けるものであり、交通弱者に対する町の責任を果たさないものである。



▲南光地域福祉センター

佐用町消防本部及び消防署の設置に関する条例等を廃止する条例制定

西はりま消防組合の設立に伴い、消防署の設置や防災会議など関係する条例の規定を整理するもの。



▲西はりま消防組合 佐用消防署

佐用町手数料条例の改正

建築確認に係る調査手数料を業務委託契約による事務費収入とするため、手数料条例から削除する。

財産無償譲渡

町有地の家内の宅地・雑種地5筆、合計561・81平方メートルを家内墓地移転対策委員会（代表・福本雅好氏）に無償

譲渡する。

補正予算

一般会計補正予算の主なものとして、減額では野生動物防護柵設置費補助金1200万円、地籍調査事業費1016万9千円、町単独間伐事業補助金2139万6千円など。増額では、道路維持費5420万円、小学校施設整備費2億2051万6千円など。



▲無償譲渡された町有地（家内）

平成24年度補正予算概要 (単位：千円)

会計	補正予算額
一般会計	2億1,653万7
国民健康保険	△1億1,525万1
介護保険	△99万9
朝霧園	△16万3
簡易水道事業	△6,605万1
特定環境保全公共下水道事業	△8,335万8
生活排水処理事業	△798万6
西はりま天文台公園	270万0
笹ヶ丘荘	1万5
歯科保健	△89万8
農業共済事業	△395万7
水道事業	収入 △11万9
	支出 △70万1

請願

全日本年金者組合兵庫県本部西播支部より提出された「年金2・5%の削減中止を求める請願」は不採択。

反対討論

井上 洋文 議員 「物価スライド」方式により、物価が下落した平成12年度から3年間、本来年金も引き下げる必要があったが、高齢者の生活に配慮し、特例的に年金額を据え置く措置が取られ、現在の年金額は、本来より2・5%高くなっている。

「特例水準」により累積で7兆円もの過払いが生じており、将来世代へ負担を先送りすることになる。

賛成討論

平岡きぬる 議員 昨年国会で成立した、2・5%年金削減法は、将来にわたって限らない

年金削減の流れを固定化することになる。不況の中、生活苦にあえぐ高齢者の生活を破壊し、次世代の年金額の低下にも直結する。世代を超えて止めさせなければならぬ。高齢者の生活実態からも、地域経済に対する悪影響からも、国の経済再生からも年金削減の中止は絶対に必要な。

諮問

人権擁護委員の推薦 人権擁護委員に春名美彦氏（西徳久）を適任と認めました。

選挙

佐用町、たつの市、相生市、宍粟市、太子町の3市2町で構成する西はりま消防組合が、4月1日に設置されるのに伴い同組合議員の選挙が行われ、山田弘治議員が当選。議員は、各市町2人で、あと一人は申し合わせて議長を選出。

3月定例議会

一般質問

町政を問う

13名

が町政をただしました

一般質問の記事は質問した議員本人の原稿に基づいています。

質問者	頁	質問事項
石堂 基	9	1. 森林整備の促進と雇用創出への取り組みについて 2. 町内に設置されている看板類の整理について
石黒永剛	10	1. 生涯学習の理念と「人づくり・町づくり」について
平岡きぬゑ	10	1. 子育て支援の本格的実施を求める 2. 南光歯科保健センターを充実し、全住民を対象とした歯科保健活動の充実を求める
山本幹雄	11	1. 日本航空学園誘致の状況は
金谷英志	11	1. 町振興にどう取り組むか 2. 三日月陣屋館をどう町振興に活かすか
岡本安夫	12	1. 眠れる日本の宝の山・林業の再生について
笹田鈴香	12	1. 「統廃合問題」は住民合意で
井上洋文	13	1. 農・商工連携で地域特産品の需要拡大を 2. 通学路の安全対策について 3. 職員からの駐車料金の徴収について
鍋島裕文	13	1. 学校統合は対立でなく、話し合いを 2. 体罰禁止など町教育行政について問う 3. 病院窓口支払い減免制度を使いやすいものに
大下吉三郎	14	1. きらめく自然づくり 美しい水と緑の環境を守り育てるまちづくり
敏森正勝	14	1. 教育行政の柱が重要課題
新田俊一	15	1. 小河川の整備と道路改良と補修について
岡本義次	15	1. 山の手入れと林道について 2. 水害の山間田畑の見落としの箇所はどうするのか 3. 新年度予算について

※掲載の順番は、毎回くじ引きで決定しています。

問 この施設は、最大出力が1万6KWで計画されているため、年間の木質燃料は23万t程度必要と考えられる。また、県内や近隣でもさらに施設の建設計画があるため、今後も木材の需要見込みは増加すると思われるが、これに備えて林内作業者

町長 県森林組合連合会が窓口となっているが、価格等の課題もあり現在慎重に検討が進められている。

問 県内で建設が進められている大型木質バイオ発電所に必要な燃料用木材の調達計画は進められているのか。



石堂 基

Q 佐用の森林資源をエネルギー活用できないか
A 積極的に検討したい

町長 育成や林業事業者の支援政策は考えられないか。
町長 発電燃料などとして木材需要が増加することは十分に見込めるし、環境や防災面からの森林整備も急務の課題であり、町内の木材利用が増加できる取り組みは積極的に考えていきたい。

問 木質バイオ発電事業者にとって、国との売電価格設定上からも燃料木質の購入価格は非常に重要な問題であり、施設近隣で森林未利用材が確保できる事が最良となる。

町長 この点を考えると、チップ加工施設もある佐用地域は優れた産地であり、今後の取り組みによっては新産業となり、新規雇用も大きく期待できる事業となる。



▲未利用材も資源になる

問 町内に設置されている看板類の整理を
町長 合併後も放置されていた看板類の整理について過去の質問で提案を行ったが、その後の具体的な取り組みは行われたのか。
町長 平成22年に調査を行い、その後自治会名称看板の統一や観光看板の整理を進め、本年完了することになっている。

問 いまだ未整理な看板類も多く見受けられるので、引き続き取り組みが必要である。

Q 生涯学習計画の具体的な施策は

A 人づくりを基本に25年度策定



石黒 永剛

問 教育基本法が改正され、生涯学習の理念が新たに述べられているが、子ども・若者育成支援推進法の観点から、生涯学習課に求められているものは。

町長 地域における人づくり、豊かな暮らし、出会いによる生きがいづくりの実現が必要不可欠である。人づくり・生きがいづくり実現のために、文化情報センターや図書館、体育館、町民プールなど生涯学習施設の整備充実に努めてきた。

問 社会教育を含む生涯学習計画の推進について、

具体的施策と計画は。

町長 町の生涯学習の基本は人づくりであると考え、生涯に渡っていつでも、どこでも、誰もが、必要に応じて学習ができ、その成果を正當に評価されるような生涯学習社会をつくっていくことが不可欠と考える。生涯学習計画の策定作業を行っているが遅れており、平成25年度のできるだけ早い時期に進めたい。

問 子ども・若者育成支援推進法が施行され3年余りが経過した。町の責務は何か。佐用町の子ども・若者像を描き、実践的有用な施策を考え

ているか。総合的な支援対策は。

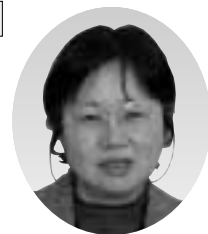
町長 町では、子育て支援センターを中心に次世代育成支援行動計画を策定し、地域の人材や資源を利用したファミリーサポート事業の充実を図りながら、地域ぐるみの子育て環境の整備に努めている。子ども若者育成実務会議で協議を重ねているが、子ども若者総合サポート会議設置には至っていない。



▲「自己学習」風景

Q 子育て応援宣言をおこなない子育て支援の本格的実施を

A 給食費の無料化はしない



平岡 きぬゑ

問 学校給食費の無料化実施を。

町長 財源は8千数百万円必要だが、食費は保護者に負担してもらう。

問 保育料の無料化を。

町長 平成24年度の保育料は7700万円。近隣の自治体と比べても安いので、これ以上はしない。

問 ドリルなど学校教材費への助成時期は。

教育長 兄弟関係もあり分け目が難しい。

問 保育園延長保育の実施、年度途中での受け入れなど、保護者の要求に

応える対応を。

町長 午後6時までの延長保育は8園で実施、4

00人中140人前後が利用。年度途中の入園は31人。

問 学校給食にアメリカ産牛肉、脳など特定危険部位を原料とする加工品や加工調理品を使用しないための対策は。

町長 牛肉はすべて国産を使用。BSE証明書を添付して納品してもらっている。

問 食物アレルギー対応は。

町長 給食センターでは21人に対応。弁当持参者は2人。事前に献立表・食材表で保護者に確認してもらい、個別に除食し、個別の容器に入れて専用のアレルギー調理室で調理している。

南光歯科保健センターを充実し、全町民を対象に歯科保健活動の充

実を

問 高齢者の訪問治療や施設入所者への予防治療の実態は。

町長 在宅要介護者とケアマネからの依頼で、平成23年度はケアマネが93件訪問、訪問指導は198件。特養では、継続的に14日実施している。町の各施設は訪問。歯科センターは、幼児・障害者・高齢者を優先している。歯科保健の向上を図るために努力したい。



▲園庭で遊ぶ三河保育所園児（4月9日撮影）

Q 日本航空学園を誘致する考えは

A 現状では誘致困難



山本 幹雄

問 日本航空学園について色々うわさされている。新聞折り込みもされていた。私も関係者といわれる方と議長とともに会談を持った。その時の話では、60億円を兵庫県と佐用町で提供してほしい。用地も提供してほしいというものだった。そこで、議長も私も、航空学園が来ていただけるのはありがたいが、それだけのお金を佐用町として用意するのは町民が了承していた、だけないと答えている。誘致について町長の考えを問う。

町長 昨年7月、学園理事の清水氏が来町され話

を伺った。支援可能な自治体が有れば全国各地で大学を設立したいとの意向を話された。具体的な支援内容は話されなかった。また、今年の1月、本部長兼理事の園原氏が来町され説明を受けた。大学設立にあたってどこか資金面、用地面などで協力してくれる所が有れば話を進めたいとのことであった。輪島市の能登キャンパス事業費は45億円、内自己資金は18億5千万円であった。別に地

元自治体の輪島市が体育館を7億5千万円で整備した施設整備費は含まれていない。さらに大学設立となればさらに準備金等で15億円以上が必要との話であった。本町の場合それに用地費や造成費に道路整備、上下水道の基盤整備に掛る経費が必要と見込まれる。学園が財政的に非常に厳しいという中で、どれだけ負担されるのかという話もなかった。総合的に判断すると、自治体に求められるのは、用地とは別に数10億円規模か。現状では佐用町として積極的に誘致する状況ではない。



▲町内で配布されたチラシ

Q 再生可能エネルギー委員会の設置を

A 研究は進める



金谷 英志

問 町ではメガソーラー事業に取り組んでいるが、本町には他に小水力、風力、バイオマスなど潜在的なエネルギーがあり、これらの資源を有効活用するには、県立大学や近隣の関連企業とも連携した研究が必要だ。技術・制度面の情報収集・研究を総合的に行うためにも、再生可能エネルギー導入の検討委員会を設置してはどうか。

町長 大学研究機関や関連企業などに、意見を求めながら研究を進めていく。森林は環境保全、水源涵養などの多面的機能

を発揮している。森林整備や防災の面からも間伐をさらに進め、林業振興に努めるべきではないか。

町長 間伐推進、広葉樹林化、林内路網を整備していく。

問 町も取り組んでいるメガソーラーの架台木材については、町産材の使用を検討すべきではないか。

町長 木製架台は、申山では柱台1万本、上月仮設住宅跡地には500本程度を使用する予定だが、一度に大量の木材の確保が必要。町産材の活用には努力するが、不足するものは県産材を調達する。

味わいの里三日月、もくもく村、三方里山公園、八幡神社などがあり、これらを含めた文化・観光ゾーンとして位置づけた町の振興に資する陣屋周辺整備計画が必要ではないか。

町長 陣屋館には、文化的価値を高める整備が求められる。周辺の施設を有効に活用して町の振興にも努める。



▲小水力発電 (山梨県・都留市ホームページより)

Q 林業再生への挑戦を

A 森林組合と一体になつて取り組む



岡本 安夫

問 昨年、NHKの番組でドイツの林業の紹介があり、日本の山は荒廃するか、宝の山になるかの瀬戸際であると放送された。

榎日本海水が、赤穂市に木質バイオマス発電所の建設を計画している。佐用町から年間1万トンの材木を供給すると仮定して、そのためには、
 ①森林経営計画の作成
 ②団地内50%以上の森林経営委託契約（所有者の同意）
 ③作業班の確保等が必要だがその体制は。
町長 ドイツの森林の形態と日本とは条件が違う

ので、同列には比較できない。材木を建材以外の燃料や紙の材料として供給するには価格の採算が合うことが条件だが、大切な課題であると認識している。

①国の公的援助の利用は必須条件。経営計画の作成は作業が膨大なので、行政と森林組合が一緒に取り組む。

②同意については山林所有者の特定や、今までの切り捨て間伐と異なり1 haで10立方mの搬出が条件であり、良木も切ることを理解してもらおうが必要があり難しいが、行政と森林組合と協力して契約をめざす。
 ③事業の採算の見



▲森林の整備

通しが確立されることが条件だが、現状の作業班では不足している。森林の作業は技能の習得に経験を積む時間がかかるので、見通しをたてて、国や県の制度を利用して育成も検討する。

問 集落単位に出向いてこの事業の説明会を開き、同意をもらえるようにするべきだ。

町長 集落全員に集まってもらつての説明はともかく、組合員への説明はしたい。

Q 「統廃合問題」は住民合意で

A 熱心に議論されている



笹田 鈴香

問 2月20日、議会の「学校・保育園規模適正化特別委員会」で教育長から「概ね町の考える方向で進んでいる」という報告を受けたが、実際の様子はわからない。住民の中には町の進め方に不満を持っている人もあり、昨年共産党議員団が実施した「町民アンケート」の回答でも「説明が不十分」が一番多かった。

「統廃合問題」は充分な住民説明をし、合意を得なければならぬと思う。会議録をみると保護者等から、佐用地域3校（佐用、利神、江川）同時という意見が出ている

がなぜだと思うか。

教育長 吸収合併という意識があるからだと思う。

問 各校での特色ある取り組みの中で、失われるものはないか。

教育長 新校でもそれぞれの特色を出して取り組む。

問 統合問題について内容や進行状況を知らない人も多いため、懇談会、委員会などの開催日や会議録など広く公開し、傍聴も可能にすべきだ。

教育長 ホームページ、広報さようなどで知らせている。

教育課長 懇談会等で決めることだが、傍聴は可能のはずだ。

問 隅々がきり捨てられるような計画になっていないか。たとえば計画の中で、石井保育園の通園



▲石井保育園

バスは（奥海集落があるのに）終点が上石井となっている。他に、現在子どもはいないが、上月地域でありながら桜山集落の樺坂は、小学校は江川、中学校は佐用だが高まったく記されていない。

教育長 今、子どもがいないのでそうなっているが、実際に利用者がある時は対応する。

問 自治会、PTAの委員等が改選で交代したときの対応（経過説明など）はどうしているのか。

教育長 より充実させたというところでその旨を説明し、方向性を記述したものを渡している。

Q 農・商工連携で地域特産品の需要拡大を

A 特産品の開発を目指す



井上 洋文

問 商工会・行政・議会の連携強化は。

町長 議会の理解のもと、商工会の取り組みについて補助を行っていく。

問 農産物の直売所の拡充については。

町長 新しい魅力のある農産物の供給がなければ新たな設備、施設の拡充は難しいと考えている。

問 異業種参入の促進についてはどうか。

町長 農業への参入については、建設業などの異業種の企業が一定の要件を満たせば、事業費について補助制度がある。

問 通学路の安全対策については

町長 小学校区ご

とに取りまとめられた危険箇所の改善要望により、教育委員会、各小学校、道路管理者、佐用警察署が現地で通学路点検を行った。その後交通安全対策が必要な41カ所について、改善策なり方法の協議を行っており、県にお願いし24年度21カ所の対策を行った。

町長 徴収しない。役場職員からの駐車料金の徴収を



▲町内農産物等を販売する平成福の市（平福）

Q 学校統廃合は対立でなく、話し合いで

A 地域に禍根を残さないよう、話し合いを進める



銅島 裕文

問 学校統廃合で多くの町民から出されている、「複式学級解消でよい良い教育を（教育の論理）」や「地域の存続には学校は大切（地域の論理）」などは切実で、まじめな意見だ。問題は、これら一見対立する意見を町民間で充分話し合える状況を町教委がつくっているかである。実際は、「地域より、子どものことを第一に考えるべき」との町教委の方針が町民間に対立を生む一因になっているのではないか。

教育長 対立と議論は別だ。地域に禍根を残さない

問 対立の現状を認識していない。意見の違う人が会合で意見が出せない現実があり、これが対立だ。このことは、町教委の1月定例会でも教育委員からの報告がある。また、町民アンケートにも声として寄せられている。

教育課長 地域の会議は年齢層が広く、若い人が発言しにくい状況がある。

問 教育問題と地域の問題は並行して、進めるというが、地域のことは後回しが実態だ。

教育課長 地域問題を一緒に協議すれば混乱する。統合が決まらなないと跡地の協議はできない。

町長 この問題も対等の立場で進める。まず、統合で合意して、その後地域の問題を並行して協議する。過去の統合（利神小）でもそうした。

町長 地域の協議には町長も出席すべき。

町長 出席する。



▲久崎小学校（4月8日）

Q きらめく自然づくり

A 地域住民と共に



大下 吉三郎

問 きらめく自然づくり、美しい水と緑の環境を守り育てるまちづくりについて、

1、自然と共生する環境、
2、環境型社会の構築、
3、歴史環境の保全と美しい景観づくりなど、それぞれ取り組みがされているところですが、町後期基本計画における施策の方向等の中で、特に第4節の取り組み状況について、町長に問います。

町長 名水百選千種川水辺環境整備事業については、現在兵庫県において河川改修事業が取り組まれており、景観や環境に配慮した工事が行われている。

概要はコンクリート護

岸の擬石化、緑化、また魚巢ブロックの設置のほか、親水空間を創出するための階段護岸の設置など、暮らしに溶け込み癒しの場を創出する空間づくりにも配慮し工事を進めている。

幕山川では自然環境、地域環境と調和した整備。平福地区では歴史的護岸に配慮した整備。

佐用地区では市街地の景観に配慮した親水護岸の整備のほか、住民の健康増進や交流の場として利用できる、ウォーキングコースが整備される。

久崎地区の千種川、佐用川では、護岸沿いに桜の植栽や遊歩道が検討されている。

問 里山整備について根本的に取り組む必要があると考えるが。

町長 東徳久集落において国、県の補助を受け整備中だが、集落の方々が主体となり取り組む必要がある。

問 文化財の常設展示場は整備しないのか。

町長 上月、三日月支所等との一体的な活用も含め、教育委員会とも協議検討をしたい。

問 クリーンセンターの跡地利用については。

町長 最終処分地の継続利用や、収集車の車両基地、チップ工場、汚泥・たい肥処理等々考えるが、結論は出ていない。早く検討したい。



▲金子集落に整備された炭焼がま

Q 教育の本質とは

A 新鮮味ある人づくりが第一



敏森 正勝

問 後期基本計画のうち生きる力と豊かなところをはぐくむ教育と文化のまちづくりの取り組み状況は。

教育長 前期基本計画では、学校施設・設備の老朽化への対応、少子化による適正規模、耐震化と合わせた大規模改修等が課題整理として報告され、学校基本法の規定に基づいて、郡教委発足以来の理念「夢ある教育」を基本理念として後期基本計画を作成し、重点目標に対する施策をかかげ一体となつてまちづくりを推進する。

問 最近「いじめ」に対

して全国的に報道されているが、本町学校ではどうか。

教育長 子どもの内面的理解に基づく生活指導の充実や人権教育、道徳教育の中で指導しており、命や人権を大切にすることを許さない学校づくりに努めるよう指導している。

問 学校規模適正化については、合併以来急速に進んでいるのが過疎化問題であるが、学校がなくなることによるその地域に与える影響は。

教育長 子どもの育成を第一に考え、地域の状況も住民と共に考えるよう地域にまじって懇談会をはじめ意見を聞き集約

している。

問 雇用機関がないだけに人口も減っていくといった感じであり、将来の夢を見た、新しい発想を考える期間であり、人生に磨きをかけ将来を夢みて前向きな姿勢で佐用の町を動かそうではないか。

教育長 いじめのない社会と、将来の子どもたちがより一層充実した精神の持ち主となるよう期待している。



▲兵庫県小学校体育研究会（ホタルドーム）

Q 国道179号茶屋地区自歩道整備を

A 25年度着手する



新田 俊一

問 平成21年8月9日の台風9号による、河川の復旧は順調に進んでいるが、小河川が荒廃したままになっている。小河川を整備しなければまた土石流が発生し被害が出ると思う。町長の考えを尋ねる。

町長 私も全く同感だ。まだ危険な箇所が多くあることは承知しているのですが、独自財源として災害復旧基金を積み立て、緊急性の高い所から順次、町単独の事業として逐次取り組んで進めたいと考えている。

問 長実橋の高欄と小原橋の親柱のコンクリート

がはがれて、鉄筋が見えているが、一日も早く補修をお願いしたい。

町長 両橋は県道橋なので、担当課より県へ調査依頼するよう指示をしている。

問 真宗の中野橋から深田橋の間、そして真宗の長実橋から鈴木精密の間の道路が(一部は2車線)2車線になっていない、何回も一般質問したが何

もできていない。この路線は、合併時に主要工事として明記されて引継がれていると思うので、実現を強く要望する。

町長 町としても、地域住民の重要な幹線道路として認識しているので、早期実現に向けて県へ粘り強く要望したいと考えている。

問 町道能谷線及び町道

西村線の道路が傷んでいる。危険防止のため補修をお願いする。

町長 担当課が現場確認したところ、相当傷んでいるとの報告を受けている。今後自治会とも協議しながら対応させたいと考えている。

問 国道179号線の三日月地区から茶屋地区の自歩道とあわせ河川改修工事を強く要望する。

町長 平成25年度から新規要望事業として予算計上し、今後自治会、地権者へ説明を行う。



▲荒廃が進む小河川

Q 水害の山間田畑の見落とし箇所はどうするのか

A 地元協力も得て順次修復したい



岡本 義次

問 3年前の水害で河川は大規模に拡幅や堤防の強化がなされている。見落された山間部の崩壊した里道、谷川、田畑は、今後どのように修復していくのか。

町長 里道の草刈や簡易な修復は地元でしていたが、大規模なものは国の補助を受け直していきたい。田畑も、本人が自治会長を通じて届けてもらう。耕作放棄地は修復しない。

問 町周辺部の崩壊箇所もそこに生活されている以上、基金を取り崩しても支援をしてほしい。

これから情報交換し準備を進めていく。

問 木材の切り出しも、機械や車両が入る林道がないと搬出ができない。

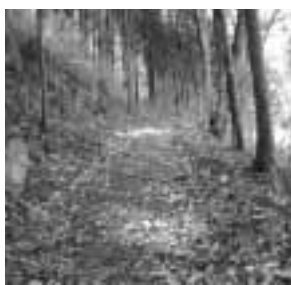
町長 林道の路網整備を今年5千5百m整備する。

新年度予算の目玉は

問 今年の予算の目玉はどのような内容か。

町長 一般会計に137億円の予算を組み、役場周辺用地を買収し、庁舎増築・駐車場整備、申山や上月で太陽光発電、災害記録誌発行等を行いたい。

問 合併特例の期限も一年半余りで切れ、国からの交付税も減ってくる。役場もドンドン行財政改革をしていき、議員も定数14人にはしよう。



▲木材の切り出しには林道整備が重要

常任委員会報告

3月定例議会付託案件

総務常任委員会

委員長 石黒 剛

まちづくり基本条例制定

この条例は、まちづくりの主体である町民、議会、行政の責務と役割を明確にして、町民の皆さんが幸せを感じることをできるまちづくりの基本的な事項を定めようとする条例です。

この条例の原案は、まちづくり推進会議において、約1年間に13回の会議で審議されたものです。



▲基本条例制定のための町民シンポジウム

さらに、町民シンポジウムが行われ、皆さんの意見も取り入れて提案されました。

結果：全員賛成原案可決

水防に関する条例の制定

この条例は、台風9号災害の経験から水防対策強化のために水防管理団体とするよう県に依頼し、この度指定となったものです。これにより町は、①水防計画の策定、②水防協議会の設置、③水防訓練が義務づけられました。

結果：全員賛成原案可決

厚生常任委員会

委員長 山田 弘治

付属機関設置条例の一部改正

この条例改正は、障害者虐待防止ネットワーク運営委員会を付属機関として新たに規定するためのものです。

問 今回、佐用町障害者虐待ネットワーク委員会

が設置され、4月1日から施行されるが、時間的に今日になった理由は。

答 内部の選定作業等を含め12月議会に間に合わない状況であった。今回、4月1日施行できるように提案した。

結果：全員賛成原案可決

地域社会における共存の実現に向けて新たな障害者保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する

条例の制定

この条例改正は、地域社会における共生の実現に向けて新たな障害者保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い関係条例を改正する必要があるために行われるものです。

問 2条と6条関係で、名称なり公務災害補償関係の条文が、1項繰り上がっている理由は。

答 5条10項でサービスメニューの中のグループホームとケアホームの項目があり、今回、その内のケアホームが支援法の改正で全部統一され10項目がなくなつた関係で、繰り上げになった。

結果：全員賛成原案可決

インフルエンザ等対策本部条例の制定

この条例は、新型インフルエンザ等対策特別措置法の制定に伴い、新型インフルエンザ等緊急事



▲国が進めている行動計画

態宣言がされたとき、町対策本部を設置することが定められたために制定するものです。

問 措置法が発令されると、公的施設が自由に使うことができなくなる。国からどういった情報が出てきているのか。

答 国で、行動計画、ガイドラインの策定後、指定地方公共機関が指定され、都道府県で行動計画が策定されて、その後市町村の行動計画という流れになる。

結果：全員賛成原案可決

産業建設常任委員会

委員長 高木昭雄

町道路線の認定

にしはりまクリーンセンター線と三ツ尾クリーンセンター線の町道認定。
結果：全員賛成原案可決

町道路線の廃止

竹内線（桑野）と久崎団地線の町道廃止。
結果：全員賛成原案可決

町道路線の変更

山脇線、下梶尾線（本郷）、など6路線の延長・幅員変更。
結果：全員賛成原案可決

区域外道路の変更の承諾

町内を通過する美作市道大聖寺中線の変更。
結果：全員賛成原案可決

南光ひまわり館運営基金

南光ひまわり館運営基金の全額取り崩しにより基金を廃止し、条例も廃止する。
結果：全員賛成原案可決



▲町道路線の現地調査を行う産業建設常任委員

厚生常任委員会所管事務調査報告

委員長 山田弘治

住民課関係

（平成24年12月現在）

国民健康保険は、世帯数2804世帯（加入率39・93%）、被保険者4829人（加入率25・15%）。介護2号被保険者（40歳〜65歳未満）は1866人、資格証明交付世帯数18世帯、短期被保険者証交付世帯数91世帯。保険税軽減の状況は、軽減世帯数1664世帯。軽減被保険者2574人で、軽減分金額5519万4990円。

質疑では、資格証明書、短期書を渡している被保険者について、追跡調査をしているのかの問いに対して。呼び出しに応じない人があるが、必要な時に渡しているとの説明を受けた。

健康福祉課関係

平福保育園改修工事期間の変更

卒園、入園等の諸行事、新入園児の環境の変化等を考慮し、6月以降に工事着手の方向で調整中。

質疑では、委員から9月時点で判っていたのではないかと、財務規定からみてもおかしいとの指摘があり、それに対して3園統合してほしいとの声があり、6月以降に工事に入りたいので、繰越事業でお願いしたいとの答弁がありました。

議会提案関連

南光福祉センター

の指定管理

南光地域福祉センターの指定管理者の指定について説明があり、開始時

期は平成25年4月1日、指定管理料は200万円、指定管理者は佐用町社会福祉協議会になっている。

上下水道課関係

平成24年度事業の進捗状況

7事業が完了、10事業については県河川復興室と調整しながら進めていきたい。

佐用町消防本部関係

住宅防火の取り組みについて、町内全域の未設置住宅を対象とした個別指導を終了（調査済戸数89・1%）。

平成24年12月末の状況、条例適合設置率79・1%で今後は作動確認等維持管理の指導を進めたいとの説明を受けた。

有害土壌処理状況調査

河川復旧工事関連地に有害土壌が検出された、上月地域旧MCFアーティコム跡地について、地権者において、有害土壌の撤去処理が行われたので、その処理状況を調査した。なお、この土地については佐用町に無償譲渡を受け、地域の共同墓地等に有効利用される予定になっている。



▶家内地区での現地調査

組合議会

(播磨高原広域・西はりま環境・三土中学校)

・特別委員会調査報告

播磨高原広域

事務組合議会

組合議員 金谷英志

平成25年度第1回播磨高原広域事務組合議会定例会は2月18日に開かれ、全議案可決し1日で閉会しました。

案件は、教育委員会委員の任命同意、兵庫県市町村退職手当組合規約の変更、非常勤特別職の公務災害補償等の条例改正、他2件の条例改正と平成24年後一般会計補正予算



▲組合で運営されている「こぶし苑」

案、平成25年度一般・上水道・下水道会計予算案。

平成25年度一般会計総額は、4億9898万円で前年度より1039万8千円の減額。斎場「こぶし苑」の火葬炉の改修に2455万5千円、棺台車更新に165万9千円などを計上。

構成市町の分担金は、3億3220万8千円です。その内、佐用町負担額は5287万2千円となっています。

西はりま環境事務 組合議会

組合議員 石黒永剛

にしはりま環境組事務組合議会は、2月15日に第22回定例会を開催しました。

議長選挙をはじめ、条例の改正ほか、平成24年度一般会計予算を5億4

794万円減額し52億5173万3千円に改めることや、平成25年度一般会計予算案7億3749万5千円を審議し、全員賛成にて可決しました。

また、議長には山本守一上郡町議会議長が選出されました。

三土中学校事務 組合議会

組合議員 敏森正勝

3月26日に三土中学校事務組合議会が開かれ、教育委員の任命と25年度予算案が提出され、いずれも提案どおり可決しました。

三土中学校の統廃合に関連して、3月25日の町議定会例会閉会后に町教育長から、宍粟市では区域外就学を三土中学校新1年生のみに選択制で認めたと3月13日に佐用町

▲宍粟市・佐用町で組合運営されている三土中学校



教委に連絡が入り、佐用町も同様にすると報告がありました。

26日の組合議会閉会后に組合教育委員会からも区域外就学について経過報告がありました。

そこで、組合議員は組合教委の説明内容をいち早く全議員に報告を行ない、再度入学式までに、組合教育長から佐用町議事に経過説明するよう依頼し、4月5日に全議員が説明を受けました。

学校・保育園 規模適正化 調査特別委員会

委員長 敏森正勝

2月20日に学校・保育園規模適正化特別委員会を開催しました。

前回の委員会開催後からの、各地域で進められている小学校・保育園規模適正化懇談会・委員会の協議経過について報告を受けました。

各委員からは、各懇談会での質疑内容や廃校後の地域振興、地域の教育力維持、懇談会の傍聴、統合後の保育園への通園方法等の問題が提起されました。

今後も再三にわたり特別委員会を開催し、状況等を把握していきたいと考えています。

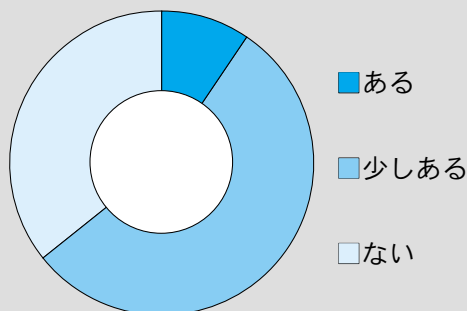
議会改革調査特別委員会報告

議会改革調査特別委員会で行いました「議会に関する町民意識アンケート」の調査結果について、前号に引き続き掲載します。主な項目については前回掲載していますので、その他の項目についてご覧ください。アンケートに記載のありましたご意見につきましては次号以降にお知らせします。

なお、委員会ではこの調査結果も踏まえて議員定数の適正化を優先課題として、現在協議を進めていますが、合わせて議会改革全般についても計画的検討を行っていますので、引き続き「議会だより」でお知らせをします。
議会改革調査特別委員会 委員長 石 堂 基

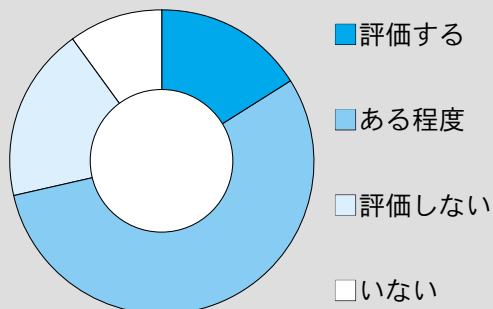
Q：本会議をご覧になったことがありますか

回答	ある	少しある	ない	計
20代	1	9	32	42
30代	1	22	29	52
40代	1	41	53	95
50代	8	75	76	159
60代	30	195	95	320
70代	52	198	67	317
計	93	540	352	985



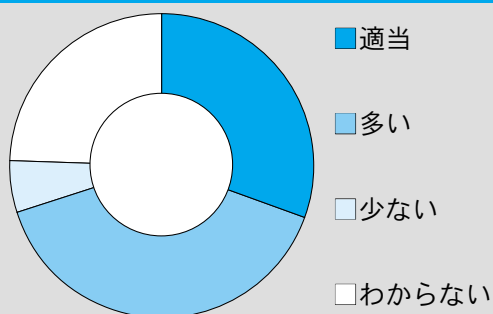
Q：あなたが選んだ議員の活動をどのように評価しますか

回答	評価する	ある程度	評価しない	いない	計
20代	2	14	3	21	40
30代	3	27	8	13	51
40代	8	57	9	15	89
50代	17	86	37	10	150
60代	54	155	56	17	282
70代	57	148	50	12	267
計	141	487	163	88	879



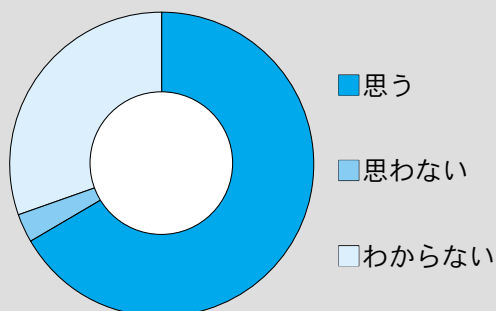
Q：議員報酬は月額 250,000円ですが、これをどう思いますか

回答	適当	多い	少ない	わからない	計
20代	13	11	4	13	41
30代	11	20	3	18	52
40代	26	38	5	23	92
50代	43	49	12	46	150
60代	89	127	15	54	285
70代	90	107	10	64	271
計	272	352	49	218	891



Q：議会の改革は必要だと思いますか

回答	思う	思わない	わからない	計
20代	23	0	16	39
30代	30	2	20	52
40代	61	4	24	89
50代	102	2	44	148
60代	202	8	63	273
70代以上	149	10	92	251
計	567	26	259	852



傍聴はお気軽に

町民の皆さんの要望を反映した一般質問など、皆さんから選ばれた議員と当局のやり取りをじかに見ることができます。

佐用町議会は、本会議だけでなく委員会も公開しています。傍聴の申し込みは議会事務局まで。

電話82-0668（直通）

議会の うごき

5
月

20日 全員協議会
24日 県町議会議長会評議員会議（神戸市）
31日 県町議会議長総会（神戸市）

6
月

4日 議会運営委員会
11日 6月定例議会開会
12日 総務常任委員会
13日 厚生常任委員会
14日 産業建設常任委員会
17日 本会議
18日 一般質問
19日 一般質問（テレビ放映）
20日 一般質問（テレビ放映）
25日 6月定例議会閉会

地域づくり センター長 登場



三日月地域づくりセンター長
しもむ 下出 孜 さん（66歳）

4月2日、三日月地域づくりセンター長の下出孜さん（仁僧）を訪ね、センター長を引き受けられた動機や活動についてお話を伺いました。

下出センター長は、『まちかどカメラマンとして町内各地を回っていたとき、何かやりたいなと思っていたところへ、センター長のおはなしがあり、24年度に就任しました。』

三日月地域は1129世帯・2969人、まちづくり活動員36人で構成しています。うち女性がないのが残念ですが、今後の参加を期待しています。

就任して日は浅いけど、やりたいことがいっぱいあります。これだけ少子高齢化になると、地域全体で見守る「福祉の見守り」が大切になると思います。また、三日月に「風」の流れをつくりたい。多くの方に三日月駅で降りてもらい、陣屋門、ルピナス畑、味わいの里三日月月など地域を訪ねてほしい。地域の人たちには「風車」をつくってもらい周辺に立てる。そこに「風」をおこし、人と風の流れて活性化が図れたら素晴らしいですね。また、そんな企画をする人たちの「養成講座」も開いてみたい。今後、自立にむけ活動を広げていきたいと思えます。』と熱心に話されました。

「みんなで参加できること」を基本に、地域の活性化に夢を抱いて望んでおられる様子は、本当にいきいきと輝いて見えました。

（笹田鈴香）

編集後記

風薫るさわやかな季節になりました。

多くのみなさんに親しんでいただける「議会だより」にするため、議会広報委員一同、毎回案を出し合い紙面を作っています。

今回は、初めての試みとして、三日月地域づくりセンター長さんに登場していただきました。

これからも、各地域のセンター長さんを訪ね、紹介したいと思います。

何ぶんにもインタビューは初めてのため、大変緊張しました。ご協力ありがとうございました。

（笹田鈴香）

議会広報特別委員会

委員長 山本 幹雄
副委員長 井上 洋文
委員 金谷 英志
大下吉三郎
石堂 基
笹田 鈴香